

アイヌ民族と先住民族の権利保障について知り、文化の多様性の尊重について考える学習

札幌市立真栄中学校 教諭 井上 友美

中学校 第3学年 公民的分野

単元名 「これからの地球社会と日本」

【1】単元のねらい

国際社会に対する理解を深めさせ、国際社会における我が国の役割について考えるとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な問題について探究し、自分の考えをまとめる活動を通して、現在および将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について考え続けていく態度を育てる。

【2】単元構成

時	学習内容	学習目標
1	文化の多様性の尊重① (本時)	・アイヌ民族と先住民族の権利保障について知り、文化の多様性の尊重について考える。
2	文化の多様性の尊重②	・身の回りにある世界の文化や宗教に関心をもつ。 ・世界の文化の多様性について理解し、文化の多様性を尊重することを確認するとともに異文化理解の意義について考える。
3	日本の外交の現状と課題	・日本が現在、どのように外交に取り組み、国際社会の諸課題の解決に関わっているのかを調べ、理解する。 ・日本の領土をめぐる問題の現状を理解し、日本の外交上の課題について考える。
4	世界とつながる日本	・日本が世界の様々な地域とつながっていることに気付き、その関わりについて関心をもつ。 ・日本と世界は、政府・企業・NGOなど多様なレベルで、政治・経済・文化などの様々な分野においてつながりをもっていることについて理解する。
5	世界平和のために	・世界平和の実現のために日本できる貢献（自分にできる貢献）は何かを考えて発表する。

【3】本時の目標

- ・北海道旧土人保護法やアイヌ文化振興法などを通して、法律が実際の生活に大きな影響を与えることを理解できる。
- ・アイヌ民族と先住民族の権利保障、文化の多様性の尊重について考え、意見交流ができる。

【4】本時の展開

	主な学習内容(□)・活動(■)	留意点等
導入 (5分)	<p>■アイヌ語ラジオ講座の一部を聞く。 アイヌ語ラジオ講座のテキストが無料配布されている理由を考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・多くの人に知ってもらうため ・継承するため</p>	<p>●アイヌ語ラジオ講座の説明をする。</p>
展開 (35分)	<p>■アイヌ民族の歴史を復習し、北海道旧土人保護法とアイヌ文化振興法に着目する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">法律が人々の暮らしに与える影響を考えよう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・人々の暮らしに影響を与える。 ・人々の願いが法律の制定に結び付く。</p> <p>□主権者として、法律を制定する国会(国会議員)に注目していく必要性を理解する。</p> <p>■「アイヌの生活実態調査」の結果の資料を見る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・生活は徐々に向上しているが、まだ差別や格差がある。</p> <p>□アイヌ民族の現状を知り、これからの社会的な課題を考える。</p> <p style="border: 3px double black; padding: 5px;">先住民族であるアイヌの人々が望んでいることはどんなことだろう。</p> <p>■グループで考えを交流し、いくつかのグループが発表する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・差別がない社会～文化の多様性の尊重 ・「差別の解消」がゴールではない。 ・アイヌがアイヌとして生きていける状況を日本の社会は保障しなければならない。</p> <p>※評価 ・アイヌ民族と先住民族の権利保障、文化の多様性の尊重について考え、意見交流ができたか。</p>	<p>●既習事項の確認をする。 ・同化政策 ・北海道旧土人保護法 ・アイヌ文化振興法</p> <p>●法の支配について、復習する。</p> <p>●資料「アイヌの生活実態調査」提示</p> <p>●法律の問題点とアイヌの生活実態調査を関連付けることで学習課題を把握する。 ・グループ(3～4名)で話し合う。 ・グループの考えを述べる。</p> <p>●先住民族の権利に関する国連宣言で先住民としての権利保障、オーストラリアの先住民族の権利保障の資料も参考にするように指示。</p>
まとめ (10分)	<p>■ゲストティーチャーの話聞く。</p> <p>□本時の感想を記入する。</p> <p>※評価 ・北海道旧土人保護法やアイヌ文化振興法などを通して、法律が実際の生活に大きな影響を与えることを理解できたか。</p>	<p>●グループの発表に対して、北海道旧土人保護法に焦点を当て、感想を述べていただく。</p>

【5】課題探究的な学習を取り入れた授業の充実

「北海道旧土人保護法」と「アイヌ文化振興法」とを比較することで、法律の問題点を明らかにし、問題点と「アイヌ生活実態調査」を関係付けることで、先住民族であるアイヌの人々が望んでいることについて、意味理解を伴った知識の習得を図ることができた。